

今回は松本城の伝説のなかの、二十六夜神についてお尋ねしますのでお答え下さい。

1. 天守6階の小屋組の上に、天守の守り神として小さな祠（ほこら）がある。この祠の中に何という神が祀られているか、次の中から一つ選びなさい。



- ① 夜行稻荷                      ② 若宮八幡  
③ 二十六夜神                  ④ 二十三夜様

2. 問題1の祠が祀られたのはいつごろか、次の中から一つ選びなさい。

- ① 寛永13年（1633）    ② 元和4年（1616）    ③ 享保12年（1727）

3. 問題1の祠が祀られた頃の松本城の城主は、次のうちの誰にあたるか、一人選びなさい。



- ① 戸田康長                      ② 堀田正盛  
③ 松平直政                      ④ 水野忠清

次の物語を読んで、——線の部分の問題に答えなさい。

「・・閏正月26日のこと、持筒頭（もちづつかしら）の武士が、天守で宿直（とのい）をしていたところ、ちょうど月が出たころ誰かが自分の名前をよんでいることに気づきました。振り向くと美しい女人が現れ、〇〇〇〇と告げ、武士に袋を授けて消えました。・・・」

4. 持筒頭の武士とは誰のことをいうのでしょうか。つぎの中から一人選びなさい。

- ① 板橋兵左衛門                  ② 戸田傳五郎  
③ 吉江両右衛門                  ④ 川井八郎三郎

5. 美しい女人とは、どんな装束（しょうぞく）をつけていたか。次の中から選びなさい。

- ① 紫の袴（はかま）姿で          ② 緋（ひ）の袴姿で          ③ 赤の装束に黒の袴で

6. 夜中の城の守りをしていた武士に、美しい女人は何と告げたのでしょうか。次の中から一つ選びなさい。

- ① 「二十三夜の日に米3石3斗3升3合を炊いて祝うこと。」
- ② 「二十六夜の日に米3石3斗3升3合を炊いて祝うこと。そしたらお城は必ずさかえようぞ。この袋は決してあけてはなりません」
- ③ 「二十六夜の日に米4石4斗4升4合を炊いて祝うこと。そしたらお城は必ずさかえようぞ。この袋は決してあけてはなりません」
- ④ 「二十三夜の日に米4石4斗4升4合を炊いて祝うこと。」



7. 武士に授けた袋はどんな袋だったのでしょうか。次の中から一つ選びなさい。

- ① 金色の袋
- ② 赤色の袋
- ③ 錦（にしき）の袋
- ④ 紫色の袋

8. 翌朝武士は、美しい女人から言われたことを城主へ申しあげたところ、〇〇〇〇より毎月の例としてお祀りをおこなうようになったという。さて〇〇〇〇にあうものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① 翌2月の26日
- ② 3月の26日
- ③ 正月の27日
- ④ 4月の26日

9. 享保12年（1727）閏正月元日の火災の際、天守が類焼を免れたのは、松本城の守り神様のおかげであると語り継がれている。この火災は、次のうちのどこの火災であったか、一つ選らびなさい。

- ① 黒門
- ② 本丸内馬屋
- ③ 本丸御殿
- ④ 二の丸にある焔硝蔵

10. 今でも二十六夜神様は天守6階に祀られていて、毎年11月2日には餅つきをして皆に配り、3日には二十六夜神祭を盛大に行われている。さて、この二十六夜神祭は、どこが主体となりおこなっているか、次の中から一つ選びなさい。



- ① 夜神会
- ② 古城会
- ③ 史談会
- ④ 若宮会

氏名		採点	
----	--	----	--